

もとのすみいなりじんじゃ
①元乃隅稻成神社



広大な日本海を背に連なる
123基の鳥居は圧巻。米CNN
『日本の最も美しい場所31選』
の一つ。

ひがししろばたなだ
②東後畠棚田



「日本の棚田百選」の一つ。
眼前に広がる日本海と棚田の
景色は圧巻。夏の夜の、無数
に燃る漁火の光景も幻想的。

せんじょうじき
③千畳敷



東京タワーと同じ標高333m
の高台に広がる草原。眼下には
果てしなく広がる海と空の一
大パノラマが展開。

きわどおんせん
④黄波戸温泉



露天風呂から眼下に北長門海
岸国定公園の深川湾の美しい
景色が望める。(黄波戸温泉
交流センター)

おおみじましせんけんきゅうろ
⑤青海島自然研究路



断崖が続く海岸と日本海を見
渡せる歩道。荒波が削り上
げた洞門や石柱など奇岩・怪
岩の数々が楽しめる。

せんざきっしん
⑥センザキッチン



新鮮な魚介や水産加工品、地
鶏などを購入できる直売所や
レストラン、カフェのほか、
バーべキュー場も併設されて
おり、購入した食材をその場
で焼いて食べることができる。

周辺 観光地のご案内



ゆやわんおんせん
⑧油谷湾温泉



露天風呂や、屋内の大浴場か
ら一面に広がる油谷湾の眺望
を望みながら温泉を楽しめる。

ながとゆもとおんせん
⑨長門湯本温泉



室町時代に住吉大明神からの
おつげによって発見した山口
県で最も古い歴史を持つ温
泉。温泉街中央を流れる音信
川(おとずれがわ)の両岸に風
情ある温泉宿が軒を連ねる。

たわらやまおんせん
⑩俵山温泉



古くから効能の高い湯治場と
して知られる。「還元力・水
素力」の高さから、温泉番付
で「西の横綱」に位置する。

ゆめんおんせん
⑪湯免温泉



傷ついた兎が傷を癒やしてい
たことから発見されたとも言
われる。伤口や、アトピー、
あせも等に高い効果がある。

あきよしだい
⑫秋吉台



日本最大のカルスト台地。地
下には鍾乳洞が多く散在。平
成27年9月「日本ジオパー
ク」に認定。

あきよしどう
⑬秋芳洞



日本屈指の大鍾乳洞。大正15
年、昭和天皇が皇太子の時に
この地を訪れ「秋芳洞」と命
名。全長は約10km。

しょうかそんじゅく
⑭松下村塾



吉田松陰が主宰した私塾。高
杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文
など幕末から明治期の日本を
主導した人材を多く輩出。

はぎょうかまち
⑮萩城下町



重厚な武家屋敷、夏みかんが
のぞく土堀など、町並みには
今なお城下町の風情が色濃く
残る。

アクセス



- 山口宇部空港から車で90分
- JR新山口駅から車で80分
- 中国自動車道「美祢IC」から約40分
- JR山陰本線「長門三隅駅」からタクシーで約5分

長門市観光に関する問い合わせ

(一社) 長門市観光コンベンション協会

〒759-4101 山口県長門市東深川1324-1

TEL : 0837-26-0708

長門市観光課

〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2

TEL : 0837-23-1137

ながと観光ナビ／ななび <https://nanavi.jp/>

ななび で検索

村田清風、
周布政之助の
生涯をたどる。



あの吉田松陰が師と仰いだ
時代を見通す

維新回天の礎、
郷土の先賢

Seifu Murata Memorial Museum

平成30年
1月19日
リニューアル
OPEN!

幕末の激動する政治情勢の中にあって、藩政改革の中心人物として手腕を揮った郷土の先賢
村田清風と周布政之助の遺品を中心にその生涯と功績をたどる。



長州藩天保の改革の第一人者 Seifu Murata

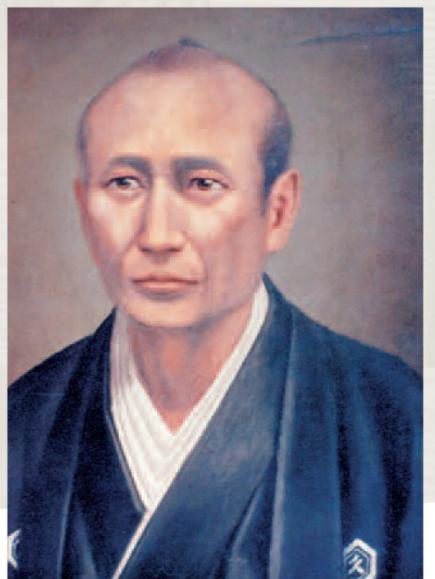
むらた せいふう

村田 清風 ~藩の改革に捧げた一生

天明3年(1783年)、萩藩士村田光賢の長男として、長門国大津郡三隅村沢江(現在の長門市三隅下沢江)に生まれた清風。藩校明倫館を経て、文化5年(1808年)に藩主毛利齊房の小姓役を命じられて以降、5人の藩主に仕えました。

江戸時代後期、藩の財政は借金が大きく膨らみ、困窮を極めていたことから、天保9年13代藩主・毛利敬親は中級武士であった清風を抜擢登用して藩の財政改革にあたらせました。

この改革は「天保の大改革」と呼ばれ、8万貫(藩の年間収入の約22倍)の負債を返済するため、僕約の徹底、紙・蝶・米・塩の生産を奨励する「四白政策」や蝶の専売制廃止、藩営の商社「越荷方」の運営による外貨の獲得に向けた取り組みなどを実施しました。さらには、軍備の改革と充実のため江戸に武器庫を建設、萩では海岸防備などの訓練も行いました。63歳で藩政を退いた後も、自宅である三隅山荘内に私塾「尊聖堂(そんせいどう)」を開いて後進の指導にあたるとともに、明倫館の移築拡張を行いました。安政2年(1855年)、持病の中風が再発し、73歳で生涯を終えた清風。そのままさまな取組で培われたものが明治維新に向けた長州藩の飛躍につながりました。



すふ まさの すけ

周布 政之助 ~長州藩の実質的指導者

文政6年(1823年)に生まれた政之助は、生まれて間もなく父と長兄が死去し、三隅の浅田にある母の実家・村田家を頼ることになりました。近くには分家の清風がいたことで、親しい付き合いがありました。

藩校明倫館を経て「嚙鳴社(おうめいしゃ)」を結成した政之助は、清風の流れを汲んだ若手政治家として台頭。嘉永6年(1853年)には政務役筆頭に昇進し、大洪水やペリー来航に伴う出費で再び悪化した藩財政を改善しようとしたが、保守派の反対にあい失脚。安政4年(1857年)に保守派が後退すると再び藩の要職に復帰して安政の改革を推進しました。文久2年(1862年)、久坂玄瑞らとともに藩の方針を「公武合体・開國」から「破約攘夷」(幕府が諸外国と締結した不平等条約の破棄と外国人の排斥)に転換。その翌年には後に「長州五傑」と呼ばれる5人の密航留学生をイギリスに送り出しました。

元治元年(1864年)、長州藩が「禁門の変」を起こしたことで幕府の長州征伐が決定。

また藩の実権も保守派に奪われてしまい、政之助はその責任を感じ自刃しました。42歳で生涯を終えた政之助ですが、吉田松陰のよき理解者として、その志は高杉晋作・木戸孝允・伊藤博文へと受け継がれ、明治維新へと開花しました。

激動! 幕末長州藩の実質的指導者
Gekidou Bakumatsu choshuhan no jisshituteki shidosa



村田 清風



明倫館の再建



吉田松陰が師と仰いだ



来て見れば 聞くより低い富士の峰
祝迦も孔子も かくやあるらん

明治維新の礎を築いた郷土の先賢たちの足跡を古地図とともに巡る 村田清風と周布政之助の原点ウォーク

2018年1月~12月 毎月第1・3土曜日

10:00~12:00(約4km)

村田清風記念館

三隅山荘(館長講話)、

村田清風の墓、周布政之助旧宅ほか

20人(最少催行人員2名)

500円

各催行日の1週間前

申し込み・問い合わせ

(一社)長門市観光コンベンション協会

TEL:0837-26-0708

ながと観光ナビ / ななび <https://nanavi.jp/>



第1展示室

一部展示物を撤去し、村田清風と周布政之助に特化してその活躍を紹介します。展示内容はタイトルを見ただけで想像がつくようにしたほか、小学生から興味のある人まで3段階の説明文を作成しました。



第2展示室

展示物を年代順に並べ、説明文を詳しくするとともに、説明パネルに統一性を持たせ、すっきりとした見た目となるように変更しました。



村田清風記念館

〒759-3803 山口県長門市三隅下2510-1

TEL 0837-43-2818

開館時間／9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日／毎週火曜日

(祝日の場合開館・翌平日休館)

入館料／一般 200円【160円】

小中高生 100円【80円】

※【】は団体料金(20人以上)

長門市民は無料



三隅山荘 (村田清風旧宅)

記念館に隣接する「三隅山荘」は村田清風の旧宅です。清風が誕生して19歳までと、63歳で隠退し73歳で亡くなるまでの約30年間をここで過ごしました。近くの大歳山にある村田清風のお墓と共に国指定史跡となっています。